

○ インターネット教育モニターからの意見及び道教委の考え方

意見の概要	意見に対する道教委の考え方
<b>■ 計画全般に関する事項</b>	
<p>計画はとてよく考えられているが、それを実行する現場の人間の仕事が、さらに増えて負担になり、その結果、本当に成果がでるのか心配。計画を実行するにあたって、新たな人員確保が必要と考える。</p>	<p>複雑化・多様化する教育課題に対応するためには、教育に携わる様々な機関が連携して取り組むことが必要であると考えております。そのため、国に対する必要な財政措置の働きかけや、市町村教育委員会と連携した学校への指導・助言等、関係機関と連携・協力するなどしながら、計画の実効性の確保に向けて取組を進めてまいります。</p>
<b>■ 「第1章 教育計画の策定について」に関する事項</b>	
<p>教育基本計画の狙いをより明確にするため、計画の「目的」が必要と考える。</p>	<p>本計画は、本道における教育課題の解決等に向けて、北海道が目指す教育の全体像をお示しするものであることから、ご意見を踏まえ、第1章の「1 計画策定の趣旨」にその旨を記載しました。</p>
<p>計画の対象が「学校教育」なのか「教育分野全般」なのかを明確にするべき。</p>	<p>本計画は、教育基本法第17条に基づき北海道教育委員会が策定する、本道における教育振興のための施策に関する基本的な計画であり、計画本編に記載しているとおり、学校教育のほか、社会教育・生涯学習・芸術文化活動など、道教委が所管する教育施策を対象の範囲としております。</p>
<b>■ 「第2章 北海道における教育の現状と課題」に関する事項</b>	
<p>(3) 子どもの貧困など社会経済的課題 SESと学力の関係でLowest SESでも学力が高い生徒の特徴などにも簡単に触れてほしい。</p>	<p>国の調査の分析結果では、Lowest SESでかつ学力が高い児童生徒の特徴として、朝食を毎日食べているなど望ましい生活習慣が見られることや、読書・読み聞かせを体験していることなど、いくつかの特徴が示されております。 第2章では、課題を中心に記載しているため、こうした特徴について触れてはいたませんが、国の分析結果も踏まえ、第4章において、子どもたちの望ましい生活習慣の定着に向けた取組の促進（施策項目17）や、子どもの読書活動の充実（施策項目10）などに取り組むことを記載しているところです。</p>
<b>■ 「第3章 北海道が目指す教育の基本理念と目標」に関する事項</b>	
<p>北海道総合計画では、北海道のめざす姿として『北の大地を力強く切り拓く豊富な人材』を掲げているが、教育計画（素案）の基本理念、目標の中にこれらが十分に反映されていないように感じる。</p>	<p>道の総合計画では、めざす姿の実現に向けた政策の柱の1つとして「北海道の未来を拓く人材の育成」を掲げるとともに、「・ふるさとへの誇りと愛着を育み、これからの北海道を担う人づくり」、「・グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成」、「・次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくり」を政策の方向性として示しています。 新しい教育計画では、こうした方向性を踏まえ、基本理念や目標、計画の重点を整理しております。</p>
<p>目標2に「豊かな人間性」とあるが、「豊かな心と正義感」と謳うべきと考える。道徳教育にも通じるところがあるが、豊かな心と正義感を醸成することによって、いじめ対策等にも効果があるものとする。</p>	<p>子どもたちの健やかな成長のためには、正義感や倫理観、美しいものや自然に感動する豊かな心などを育むことが重要と考えており、新しい教育計画では、これらを含めた「豊かな人間性」の育成を達成すべき目標の一つとして掲げているところです。</p>

意見の概要	意見に対する道教委の考え方
<b>■「第3章 北海道が目指す教育の基本理念と目標」に関する事項</b>	
<p>本道はかつて「相撲王国」と言われるほど相撲が盛んで、大相撲のプロ以外でも、企業単位でのアマチュア相撲が盛んであった。北海道としても、相撲の普及振興を是非とも施策の一つに打ち出していただければ、「豊かな心と正義感」あふれる子供たちの育成に大きく前進すると考える。</p>	<p>特定の競技の振興に関する記述はしていませんが、子どもたちが運動やスポーツの楽しさ・喜びを味わい、生涯を通じて運動やスポーツに親しむことができるよう運動やスポーツに親しむことができる機会の充実に取り組むこととしております。</p>
<b>■「第4章 施策項目と重点」に関する事項</b>	
<b>(施策項目1-1 義務教育における確かな学力の育成)</b>	
<p>「教員の教育力」こそがこの課題解決の大きな鍵。小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業をさらに発展させ、小中高相互間の教員の派遣授業や参観をより頻繁に行うことで教員の意欲を高め、さらなるスキルアップに繋がる可能性が秘められている。また、現在各学校で行われている「習熟度別学習」も学力向上等において大変効果的であり、これを全学校で取り入れるべき。</p>	<p>確かな学力の育成を図っていくためには、9年間を通じて育成を目指す資質・能力を明確化し、その育成を高等学校教育等のその後の学びに円滑に接続させていく必要があることから、学校間の接続を意識した教育課程の編成・実施や指導方法の工夫・改善を図るとともに、各学校間の連携を支援してまいります。また、子どもたちが学習内容を確実に身に付けることができるよう、子どもや学校の実態に応じ、習熟の程度に応じた学習など指導方法や指導体制の工夫改善など個に応じた指導が充実するよう指導助言に努めてまいります。</p>
<p>学力が全国平均以下（小・中学校）となっていることについて、学習内容に興味を持たせ、カリキュラムの速度を調整しながら、家庭学習が当たり前になる環境を作してほしい。</p>	<p>確かな学力の育成を図っていくためには、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう授業改善を図るとともに、教育内容の質の向上を図る検証改善サイクルが確立するよう支援してまいります。また、家庭や地域と連携を図りながら、教育活動がより一層充実したものとなるよう、他の施策項目と関連を図って取組を進めてまいります。</p>
<b>(施策項目2 特別支援教育の充実)</b>	
<p>日本は、2014年1月に「国連障害者権利条約」に批准したことにより、インクルーシブ教育を権利として保障することとなったが、未だに進まないのは、インクルーシブ教育と特別支援教育は相反するものであるにもかかわらず、特別支援教育をさらに推進していった先にインクルーシブ教育があるのだと認識されているからではないか。特別支援教育を進めていくことは決してインクルーシブ教育につながらない。障がいのある子がありのまま生きられるよう、特別支援教育の先にあるのではなく新たに目指すものとして、条件なしで同じ場で共に学ぶ真のインクルーシブ教育を推進していただきたい。</p>	<p>共生社会の形成に向けて、障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶインクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、全ての学校において、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図ることが重要と考えています。</p> <p>今後も、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの場において、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒が十分な教育を受けられるよう、特別支援教育を一層推進してまいります。</p>
<p>障害があっても共に学びたいと望んでいる知的障害のある子が高校で定員内不合格になった。小中学校がインクルーシブ教育を目指すのであれば高校も共に学ぶインクルーシブ教育を目指し、だれもおいていかな教育に変わっていくべき。</p>	<p>特別な教育的支援を必要とする生徒に対して、幼児期から学校卒業後までの切れ目のない一環した指導や支援が行われるよう、各学校間ではもとより、学校と家庭、地域、関係機関等が連携して取り組む体制の整備を進めるとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実に努めていきます。</p>

意見の概要	意見に対する道教委の考え方
<b>(施策項目2 特別支援教育の充実)</b>	
<p>特別支援教育は、対象となる児童生徒の心意気を大切に、教育環境等、質の向上を目指してほしい。</p>	<p>特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対して、幼児期から学校卒業後までの切れ目のない貫した指導や支援が行われるよう、学校と家庭、地域関係者等が連携して取り組む体制整備を進めます。</p>
<p>通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒等に対する指導や支援が課題や施策に取り上げられているが、この施策をすすめた場合、発達障がいの内容や度合によっては、授業の進行が妨げられたり、他の生徒に迷惑がかかる可能性がある。計画に書かれている内容の多くは「特別な教育的支援を必要とする側の児童生徒」を主体にしたものである。差別ではなく、特別支援教育を円滑に進めるための施策として、影響を受ける一般生徒や父兄からのフィードバックをどう受け取るかなども施策展開に含めるべき。</p>	<p>共生社会の形成に向けて、障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶインクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、全ての学校において、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図ることが重要と考えています。</p> <p>今後も、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの場において、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒が十分な教育を受けられるよう、特別支援教育を一層推進してまいります。</p>
<b>(施策項目6 キャリア教育の充実)</b>	
<p>インターンシップへの取組を高校に限定せずに小・中学校から地場企業や一次・二次産業と連携して行っているかどうか。</p>	<p>道内の多くの小・中学校では、子どもたちが身の回りの仕事への関心や意欲を高めたり、将来の生き方や働き方などを考えたりすることをねらいとして、企業や地域と連携・協働した職場見学や職場体験学習などを行っているところです。道教委では、今後も道内の小・中学校が地域や関係機関と連携を密にし、子ども一人ひとりの社会的自立に向け、必要な能力や態度を育む教育活動を充実することができるよう支援してまいります。</p>
<p>キャリア教育・産業教育は、衣食住が誰の何のために大切であるのか、到達年齢に応じて認識させる体系的かつ実用的な教育を充実させてほしい。</p>	<p>一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるため、衣食住に関することを含め、キャリア教育や産業教育の充実に向けてまいります。</p>
<b>(施策項目9 ふるさと教育の充実)</b>	
<p>アイヌ文化・北方領土に関して、ICTを利用した遠隔交流・学習を行うことでアイヌ博物館や北方館からの中継等が可能となり、施設の有効利用・学芸員などの講話(講演)の提供が多くの子どもたちへ行えると考える。</p>	<p>道教委では、ICTを活用した分かる授業づくりを進めるほか、遠隔授業や教職員を対象とした遠隔研修の拡充を図っているところであり、アイヌの人たちの歴史・文化、北方領土に関する学習においても、ICTを活用した分かる授業づくりや遠隔授業の実施に努めてまいります。</p>
<b>(施策項目12 コミュニケーション能力の育成)</b>	
<p>PBL(課題解決型学習)を導入し、系統学習から生徒の自発性など能動的に学習に取り組んでいくことにより、人間関係・社会的スキルを育成し、コミュニケーション能力を高めては如何か。</p>	<p>ご指摘のとおり、コミュニケーション能力を育成することができるよう、よりよい人間関係を形成するために必要な社会的スキルを育成する活動を教育課程に位置付けるなど、学習活動の充実が図られるよう支援してまいります。</p>

意見の概要	意見に対する道教委の考え方
<b>(施策項目 1 2 コミュニケーション能力の育成)</b>	
<p>項目立てしていないが『国語教育の充実』が重要と考える。国語の授業時数がどんどん減少している。「読み・書き」はコミュニケーション能力育成や、いじめ・不登校解消などの項目にも深い関係があると思う。『きちんとした日本語で日常的なコミュニケーションができる力を身につけさせるよう』国語教育の推進も重点的に図っていただきたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、新学習指導要領においても、言語能力の育成を図るため、各学校において必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要しつつ各教科等の特質に応じて、言語活動を充実することを求められています。言語活動の充実については、施策項目12「コミュニケーション能力の育成」の施策の展開として位置付けており、国語科を含めた各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動等における言語活動の充実が図られるよう努めてまいります。</p> <p>また、高等学校においては、国語科の目標である「国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる」の達成に向けて、国語科の教育活動の中で充実した取組が行われるよう、指導・助言に努めてまいります。</p>
<b>(施策項目 1 3 いじめの防止や不登校児童生徒への支援の取組の充実)</b>	
<p>いじめ・不登校に関連して「ひきこもり」防止についても言及してほしい。</p>	<p>不登校の要因は様々であり、また、複数の要因が複雑に関連している事例もあることから、不登校への対応については、不登校の個々の要因を踏まえ、当該児童生徒の状態に応じた、きめ細やかな支援を適切に行うことが大切であるとの認識に立ち、教育計画では、不登校の態様ごとの対策を示していないことから、「ひきこもり」の防止については記載することは困難であります。</p> <p>なお、道教委では、一人一人の社会的・職業的自立に向けて、子どもたちに、職場体験やインターンシップなどの体験活動を通じて、学ぶことや働くことの意義を理解させるキャリア教育を推進しております。</p> <p>また、知事部局が主催する会議において、ひきこもりやニート、不登校等により、就学又は就業を行っていない、子どもや若者への支援に関する情報交換や連絡調整等を全庁的に行っているところであります。</p>
<p>いじめ対策として、経験豊かな人々の話を聞くことができるような、例えば、僧侶・牧師・医師・看護師・助産師・介護士などと身近に接する機会を設けてほしい。</p>	<p>ご指摘のような、児童生徒が経験豊かな人々から話を聞くことについては、道教委が作成したプログラムの中で、道徳の時間におけるいじめ未然防止の活動例を示し、道徳教育の充実を図るよう指導しているところであります。</p>
<b>(施策項目 1 4 体力・運動能力の向上)</b>	
<p>体力・運動能力が全国平均を下回っていることについて、数値・結果等に拘束されることなく、“よく食べ・よく動き・よく寝る”を目指してほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、施策項目17「家庭教育支援の充実」の施策の方向性に「望ましい生活習慣の定着に向けた取組」として記述しております。</p>
<b>(施策項目 1 7 家庭教育支援の充実)</b>	
<p>子どもたちの生活習慣は、個々の生活状況によって異なるが、PTAや地域も含め、良い案が出てくるような話し合いの場を設けてほしい。</p>	<p>施策の展開においても記述しておりますが、家庭教育支援に関して、学校・家庭・地域が連携・協働した取り組みが展開できるよう、話し合いの場を設けることに努めてまいります。</p>

意見の概要	意見に対する道教委の考え方
<b>(施策項目 19 学校と地域の連携・協働の推進)</b>	
<p>学校・家庭・地域の連携に当たっては、面談や回覧板、パソコンを活用して、直接・間接に話し合う機会を設けてほしい。</p>	<p>学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支えるためには、地域の方々に理解をいただきながら、より多くの方々の協力をいただくことが大切であり、各市町村では広報やホームページ等を活用した情報発信に加えて、住民説明会や研修会など、地域の実情に応じ、様々な機会を通じて地域の方々の理解促進に努めており、道教委としては、こうした取組の一層の充実なども含め、市町村の支援に努めてまいります。</p>
<b>(施策項目 20 学びのセーフティネットの構築)</b>	
<p>&lt;施策の展開&gt; 家庭環境が整っていない子供が、将来、非行に走る事のないよう、『こども食堂』、『地域の寺子屋』等で幼い時から高校生ボランティアや老人クラブの人たちと関わり、地域からのサポートを受けることが、子供の未来を支える上で必要と考える。</p>	<p>ご意見の趣旨については、施策の展開において、地域人材を活用した魅力ある教育活動や、子どもたちの補足的な学習サポートの機会の推進、地域の実情に応じた安全・安心な子どもの活動拠点づくりを支援することとしており、地域住民等の協力を得ながら、その充実を図っていく必要があるものと考えています。</p>
<b>(施策項目 24 教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進)</b>	
<p>&lt;現状の課題&gt; 教員の基礎学力、学習指導能力の向上の必要性についての認識が欠けている。特に、小学校教員は担当する科目が多岐にわたるので、国語や算数等の基礎的な内容をしっかりと教えることができる能力を確保するよう、取組課題として掲げるべき。</p>	<p>子どもの成長を担う教員には、常に資質能力の向上を図り続けることが求められております。ご指摘のような資質能力については、学校種別の「教員育成指標」を検討するなどして、引き続き、教員の資質能力の向上に努めてまいります。</p>
<p>中途採用や民間企業定年者などの雇用により、補助教員として、その専門スキルを活かした支援が行えると考えます。また、放課後の預かり教育・部活動などへの支援により、教員の働き方改革にも繋がると考える（学校版シルバー人材センターで、経費支出も少なく地域活性化にも繋がる。）。</p>	<p>道教委におきましては、これまでも外部人材を活用しての放課後学習や部活動指導を行ってきておりますが、今後も教職員の子どもと向き合う時間の確保に向けて、外部人材を活用した効果的な取組の促進に努めてまいります。 なお、豊かな経験や優れた知識・能力を有する多様な人材を確保するため、教員採用選考検査において社会人特別選考を実施しているところです。</p>
<p>形式的な「アクティブラーニング」にこだわるあまり「調べ学習」と称して児童を授業中に放置することのないよう教員を指導すること。特に小学校などの初等教育では、現状の教科書は反転学習などの自習を前提には作成されていないものが多いので、教員による解説は必須である。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善については、これまでの教育実践の蓄積をしっかりと引き継ぎ、子どもたちの実態や教科等の学習内容等に応じた指導の工夫改善を図ることが重要であります。その趣旨を踏まえ、教員の資質能力の向上に努めてまいります。</p>
<p>教員のハラスメントやいじめ・体罰に関する意識が数十年単位で遅れている場合があるので、研修の充実を明記することが望ましい。特に国連SDGsの4番（質の高い教育）と5番（ジェンダー平等）など最近の動きについて、すべての世代の教員に十分な研修をすること。性別だけではなく、民族や国籍による偏見を子供に押し付けている教員も多く見受けられるので、研修やテストが必要。体罰（暴力）や暴言などで教員が率先していじめに加担している場合もかなりあるので、子供の人権に関する研修も重要。</p>	<p>高度専門職である教員には、倫理観や使命感、責任感をはじめ、教育の方法及び技術に関する事項などについて、自らのキャリアステージに応じて更に高度な段階を目指すことが求められており、引き続き、研修の充実にも努めてまいります。</p>

意見の概要	意見に対する道教委の考え方
<b>(施策項目 2 5 学校運営の改善)</b>	
<p>&lt;現状と課題&gt; 「コンプライアンス」については、「コンプライアンス（法令遵守）」のように言い換え語を付していただきたい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、用語解説にコンプライアンスについての記載を追加します。</p>
<p>学校や教員を取り巻く状況では、何よりも教員には余裕を持たせ、しっかりと子供たちの教育ができるような、環境づくりを目指すしてほしい。</p>	<p>本項目の施策の方向性において、学校の組織運営体制の改善・充実が図られるよう、管理職の資質能力の向上や学校組織の活性化に取り組み、教職員の子どもと向き合う時間の確保に向けた業務改善を進めることについて記述しており、今後も関連施策の推進に努めてまいります。</p>
<b>(施策項目 2 6 学校安全教育の充実)</b>	
<p>子供の安全・安心の確保については訓練が大切であり、授業参観日に実施したり、悪天候が予測される場合は模擬訓練を鋭意実行してほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、児童生徒等が安全について適切な意思決定や行動選択ができるよう、避難訓練等の安全教育を推進することが重要であると考えていることから、避難訓練等を行う際には、具体的な場面を想定するなど適切に実施してまいります。</p>
<b>(施策項目 2 7 生涯学習の振興)</b>	
<p>生涯学習活動について、高齢者人口の割合が加速しており、すでに実施されているケースもあるので、それらを基礎として、更なる分野においても支援してほしい。</p>	<p>施策の方向性は第3次北海道生涯学習推進基本構想（以下「基本構想」という。）に基づいており、この基本構想において人口減少と超高齢化等の状況を踏まえ、「社会で生きる力を身に付け、持続可能な潤いのあるふるさとづくりを進める社会」を目指す生涯学習社会の姿として掲げ、その実現のための重要な視点の一つとして超高齢化社会に関する学習の推進を含め、「地域のよさや課題」を学ぶとしています。 本計画においても、これらの重要な視点を踏まえながら取組を進めてまいります。</p>
<b>(施策項目 2 8 社会教育の振興)</b>	
<p>「青年の社会参加促進」に係る方向性について記載してほしい。</p>	<p>社会教育法第2条においては、社会教育の対象を「主として青少年及び成人」としていることから、素案の「施策の方向性」で示しております「地域課題の解決に向けた活動に参画」できる「より多くの住民」の中には、青年も含めております。そのため、今後も、幅広い世代の社会参加が得られるよう、効果的な施策を展開してまいります。</p>
<b>(施策項目 2 9 芸術文化活動の促進)</b>	
<p>文化活動については、心の豊かさに通じるものであり質の高い生活を送るための支援をしてほしい。</p>	<p>芸術文化は、潤いのある心豊かな生活をもたらすものであることから、道民の方々が生涯を通じて芸術文化に触れる機会の充実に取り組んでまいります。</p>
<b>■ 「用語解説」に関する事項</b>	
<p>例えば、アクティブ・ラーニング「active learning」のように、実際の横文字を入れてはどうか。</p>	<p>用語解説で英文表記するものは、道において策定した「北海道総合計画」と同様にアルファベット略文字の場合としています。用語解説は計画の理解を補うために用語の意味の解説を主眼としていますので、カタカナ用語の英文表記はしていません。</p>